広報
No.487
おだわら
編集発行　小田原市役所広報課　〒250　小田原市荻窪300番地

昭和63年　7月15日

人口・世帯		（6月1日現在）
人口	189,728人	（前月比＋155人）
世帯	58,952世帯	（前月比＋135世帯）

共に手をつないで
市民と職員の共同研修が

六月二十日に消防本部会議室で、市民の方々と市職員が共同して「まちづくり」を考える研修講座が開催されました。

研修には、川西地区の市民の方十五人と市職員八人の合計二十三人が参加し、まず参加者全員が自分を表現する絵を描き自己紹介しました。

絵でやさしく自己紹介

当日はあいにくの雨が降っていましたが、城址公園内で自然に歩行をしたり、手で樹木の感触を確認したりして、五感を研ぎ澄ます訓練も行いました。

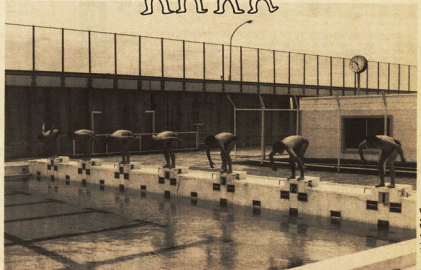
そして、川西地区の居住環境について、いくつかのグループに分かれ熱心に話し合い意見交換がされました。

いよいよ夏本番
プール開き

梅雨の合間に青空のぞき、絶好の水泳日和に恵まれた今月一日、御幸の浜プールでプール開きが行われ、海水浴シーズンの到来を告げました。

この日は、御幸の浜プールに御幸の浜、国府津そして江ノ浦西水浴場などの関係者が集まり、期間中の無事故を誓った後、小田原水泳協会員による模範競泳が行われ、涼しげな水しぶきをたてて華麗な泳ぎが披露されました。

これから暑さが増し、市内の小中学校が夏休みに入る頃になると、色とりどりの水着を着た人たちで、今シーズンもまた一段とにぎわうことでしょう。


いよいよスタートです

自分たちの手で
成人式の運営を

来る成人式を迎えるみなさん、自分たちの手で成人式の企画・運営、司会などをしてみませんか。

一度の参加でも二度でも結構です。一緒に参加していただける新成人の方の応募をお待ちしています。一生に一度の素晴らしい成人式にしようではありませんか。

- 募集人数　10人
- 応募資格　昭和43年4月2日～44年4月1日に生まれた市内在住の方
- 申込み　7月30日までに電話で青少年課青成係（☎0465-23-1724）へ。

市教育委員会では、運営に参加していただける新成人を募集しています。

城下町

今年も恒例の城下町夏まつりが、城内スポーツセンターション広場（スポレク広場）を中心に繰り広げられます。

多彩な催しがいっぱいの「まつり」です。みなさんでご参加ください。

- ◆7月23日(土)
  - ○小田原ちょうちん踊り（城内スポレク広場～弁財天通り～お堀端通り～小田原駅前町銀ろお堀通り～城内スポレク広場）
  - ○小田原ばやし・盆踊り（城内スポレク広場）
  - ○チビっこ広場・縁日模様店（城内スポレク広場）
- ◆7月24日(日)
  - ○みこしパレード（弁財天通り～堀小路から出発し、後のコースはちょうちん踊りと同じ）
  - ○郷土芸能（城内スポレク広場）
- ◆8月12日(金)　○大売り松明と線香まつり（御幸の浜海岸）
- ◆8月13日(土)　○小田原海上花火大会（御幸の浜海岸）★雨天・強風の場合は17日(水)に延期
- ◆問い合わせ　観光協会☎0465-22-1502

24日まで）

住みよいまちづくりに ボランティアの力を

市長と話し合う会（概要）

六月二十七日、市内のボランティアグループを対象に、市長と話し合う会が市役所で開催されました。今回は、主に技術を提供していただいているボランティアのみなさんと、だれもが住みやすいまちづくりを目指して、活発な意見が交換されましたので、その概要をご紹介します。

（本文中敬称略）

市長　市の総合計画「おだわら21世紀プラン」も、今年が前期四年計画の折り返し点となります。私は、小田原のまちづくりのポイントを「自然風土を生かしながら人間が住むのにふさわしいまちづくり」「歴史と文化を再認識したまちづくり」「交通環境の良さを踏まえたまちづくり」の三点に置いて進めています。

まちづくりは総合的な事業であり、今までは、都市基盤整備などハードの面に力を入れてきました。今後は、市民の意識や気持ちなどソフトの面へ目を向け、ハードの部分にソフトの部分をバランスよく、どう組み込んでいくかが問題となります。

ソフトの分野には、まず地域の問題、いわゆるコミュニティの問題があると思います。この地域における連帯意識を端的に実践しているのが、ボランティアのみなさん方であり、地域にうるおいと活力を与える原動力になっていただいています。

今日は、みなさんと一緒に住み良いまちづくりについて考えていきたいと思いますので、活発なご意見をお願いします。

会■しいひととき

福祉のためのまちづくり

市長　みなさんは、専門の手話や点訳などに限らず、お年寄りや障害者の方たちの日常生活全般の手助けをしていらっしゃるのですね。

内田　視覚障害者の方も情報を必要としています。私たちが録音するのも日常生活に密着したものばかりです。

古瀬　独り暮らしのお年寄りは、何よりも会話を望んで昼食会に見えます。具合が悪くても友だちに会いたくて来てくださる方がいます。

片桐　我々は色々な職種の者の集まりで、お年寄りがイワシの塩焼きを食べたいと言えば料理人が飛んで行くという、ふだんの生活の中の小さな声でも、ニーズがあれば間に合わせましょう、というゲリラ的活動をしています。

相馬　私たちの手話サークルでは、障害者の方も奉仕を受けるだけでなく、窓拭きなどできる範囲で一緒に奉仕するお手伝いもしています。

山口　ところで、小田原駅西口から社会福祉センターまでの道が狭く、放置自転車などもあり障害者はもちろん私たちも怖いと感じます。

土屋　歩道の花壇なども私たちは奇麗だと思いますが、見えない人には危険です。

市長　それは、だれもが快適に安全に暮らすために考えなければいけませんね。また、福祉センターまでは、山すそをまっすぐに抜ける広い道を計画中です。

斉藤　聴覚障害者への情報も少ないので、手話通訳者の育成をお願いします。お話をするのが苦手な方たちなので、市役所の窓口の対応には心配りが欲しいですね。

市長　福祉課には手話通訳者がおりますので、まず福祉課にお越しいただき、関係課に橋渡しをしています。また、職員に手話講習会への参加を呼び掛けて習得を図りますので、ボランティアの方にも協力をお願いします。

ボランティアへの理解を深めよう

内田　小田原には、視覚障害者の外出の手助けをする誘導ボランティアがないので、市で育成してほしいですね。

山口　誘導は、比較的簡単なので中学生や高校生にもできると思います。

石塚　泉中学では、手話を学ぶボランティアクラブがあり、熱心に活動しています。

市長　ええ、ボランティアへの理解は小さいときからの体験が大切ですね。中学や高校で、手話に限らず清掃奉仕などを行い、理解を深めていきたいと思います。

山口　また、何か奉仕をしてあげたいけれど、実際にどうすればいいか分からない人は多いと思います。

片桐　積極的に奉仕しようという人が十人いるとすると、声を掛ければ手伝おうという人が百人はいるでしょう。そういう人がどこに行けばいいかという受け皿を、行政が広報紙などを通じてもっと紹介してほしいと思います。

市長　行政が関与し過ぎても自発性が失われてしまいますが、もっと一般の方にボランティア活動への理解と認識を深めていただくよう、広報紙でボランティア特集を組むなどPRしましょう。

熱心に手話を学ぶ

地域に密着したまちづくり

市長　みなさんが地域で活動するときは、民生委員の方と連絡し合うのですか。

古瀬　ええ、お年寄りから連絡がないときなど、民生委員の方と連絡を取り合います。こういう会の存在が知られていないせいか、関心を持ってくれない場合もあります。

小礒　地区には民生委員の下で働くボランティアの方もいますが交流は少ないのです。

片桐　地区の社会福祉協議会は、自治会長と民生委員が中心になって構成されていますが、今日集まったグループがそれぞれの地域に戻ったときに、グループを越えて地区社協と交流できれば、地域がもっと良くなると思います。

山口　誘導など障害者への接し方の基本を、地区社協の中で一緒に学んでもらうという方法もあります。

市長　地区社協の中で一般のボランティアグループに対する理解をどのように深めていくか、交流を深めていくかが問題ですね。これからは、お互いに助け合いながら、地域における触れ合いを図っていくための協力をお願いしたいと思います。

ボランティアのあり方とは

塩練　私は、人とのつながりを求めて絵本の読み聞かせ会をスタートしたので、自分自身楽しんでいます。あくまでも主婦なので、手作りする時間のないときは市販の作品を拡大して使います。

香川　私は、若いころ託児奉仕のおかげで勉強できたので、今度は若いお母さんのために託児を始めました。自分を犠牲にすることなく、できる範囲でしたいですね。

塩練　この機会に考えてみたいのですが、ボランティアとは一体何でしょうか。みなさんのお話を聞くと、気持ちだけではできないことも多いようですが、自分が経費を多く注ぎ込むと息が苦しくなり、また、行政に予算面を頼るのでは心の面がどこかに行ってしまいます。それぞれの気持ちが色々な形でうまく生かされるのが理想なのですが。

市長　行政の仕事は、どこの地域でも同じ形になりがちですが、ボランティアの方は例えば「イワシ一匹」のような個々に合った奉仕ができます。ボランティアの方には、行政が細分化できない部分をカバーしていただき、地域をつくっていく場合の導火線、…だけるといいと思います。…

ボランティア参加者・紹介

※かっこ内は代表者連絡先

◆小田原録音奉仕会＝内田圭江（☎㊽0478）・山口智子　視覚障害者のために広報…

◆小田原点訳赤十字奉仕団＝…ワカ　手話の普及のために勉強会を実施。キャンプ等で障害者と交流。

◆手話サークル松の会＝石塚幾枝（☎㊽2748）・長谷川幸子　手話の普及。手芸や料理教室で交流。

◆シルバーフレンド＝古瀬米子（☎㊱7724）・小礒澄江　独居老人を福祉センター…

◆五樹会＝片桐卓哉　ほとん…員会主催の行事の参加者のために子どもの託児を行う。

◆すずの会＝塩練雪子（☎㊱8186）・熊沢茂子　図書館で子どものために絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開催。

中学生　集まれ！

~小田原のこんなとこスキ・キライ~

ミニミニ法律メモ

注文しないのに商品が届き代金を請求されたとき

注文していないのに、一方的に本などが送り付けられ、代金を請求されるというトラブルが起きています。

説明書などに「不要の場合は〇日以内に返送しないと、買上げの契約をしたものとみなします」と書いてあっても、これは先方からの契約の申込みであり、承諾期間内に手紙や電話等、なんらかの形で承諾（意思表示）をしない限り、売買契約は成立していないので、民法第五百二十一条・五百二十六条により、代金を支払う義務はありません。

送られてきた商品はそのまま保管し、業者が取りに来たとき引き渡すか、返送を依頼された場合は郵送代をもらって送り返せばよいでしょう。

また、商品の送付があった日から三か月を経過する日までに、送られた人が承諾せず、かつ業者が商品を引き取らないときは、業者はその商品の返還を請求することはできません。送られた人が引取りを請求した場合は、その日から一か月を経過すれば返還請求は出来ません。（訪問販売等に関する法律第十八条＝ただし、日数については近く法改正によって短縮される動きがあります）

しかし、この期間はあくまでも他人の物ですから、開封したり、故意に売ったり、捨てたり、他人に譲ったりすると横領罪・い棄罪（刑法第二百五十二条・二百五十九条）が成立する場合もありますので、処分は禁物です。

◆問い合わせ　市民相談室　☎㉝1383

おしらせ・おしらせ

水道の利用者に氏名表記の確認

水道局では、昭和63年10月から水道料金の納入通知書や使用水量のお知らせなどについて、今までのカタカナ表記から漢字表記に改めるため、準備作業を進めています。

お名前の漢字の書き方や、直した漢字に誤りがないかなどを確認するため、8月、9月の検針時に調査用のはがきを配布しますので、ご協力ください。

また、使用者の名義人の方が既に亡くなっている場合には、現在使っている方を新しい使用者として記入の上、返送してください。

なお、県営水道、簡易水道をご利用の方は、今回の調査はありません。

◆問い合わせ　水道局営業課

農地を造成する…

…は、農地として継続的に活用する土地を切土、盛土をして優良農地とする計画がある耕作者（土地所有者）で次に該当する場合は、必ず農政課所定の様式により申請してください。

◆適用範囲

①農地造成面積が500平方メートル以上のもの

②盛土高又は切土高が1メートル以上のもの

③搬出入の土砂等の合計量が500立方メートル以上のもの

◆申請及び問い合わせ先　農政課土地改良係　☎㉝1496　又は農林係　☎㉝1494

海のマナーを守りましょう

夏本番に向かって、磯遊び等の機会が多くなりますが、…が決められています。例えば、…ザエ、アワビを…

小田原スケッチ今むかし④

絵と文・小暮 次郎

人車と軽便鉄道
駅前には名物客引きも

今はもう幻と消えた人車と軽便鉄道だが、昔はその小田原駅は早川口の一角、旧岡部医院のところにあった。

起源は明治二十九年、甲州（山梨県）人、雨宮敬次郎が創設した豆相人車鉄道に始まり、その後明治三十九年、蒸気によって動力化されて熱海軽便鉄道に変更されたが、大正十二年九月一日、関東大震災（当時熱海線は国府津、真鶴間が完成し運行していた）の大被害を契機に廃線となった全長二十五キロに及ぶ私鉄である。

私は、大正初期の子どものころ、十字町の天神山に住んでいたので、毎日のように駅前に来て軽便を見るのが楽しみだったが、当時機関車から吐き出す石炭特有の悪臭や煤煙でこの界隈には独特の雰囲気が漂っていた。

おもちゃのような機関車が、定員二十五人くらいのマッチ箱みたいな小さな客車をただ一両引くだけで、また、ねぎ坊主の形をした頭でっかちな煙突は実にユーモラスなものであった。

国府津からの電車が着くと伊豆方面への湯治客はみなここで降りるので、その一時は活気づいた駅前風景があった。

駅前には、入木亭、朝陽軒、さかいやなどの待合所兼旅館が並び、中でも入木亭にいた小田原名物「女よっちゃん」という男の客引き番頭の話は有名であった。

いつも着物姿の女装で女の声音を使い、客の顔を見ると「あーら、だんな様、よーこそいらっしゃいませ。そのお荷物お持ちいたしますわ」と愛嬌をふりまき、それをひったくるようにして客を強引に待合所内に連れ込むのである。これは当時を知る古老にとっては今更ながら懐かしい昔話の一つであろう。

当時の軽便は、時刻表によると熱海までの所要時間は二時間二十三分だったが、沿線には脱線事故がつきものだったので、三時間から四時間もかかることは一向に珍しくなく、時代は至ってのんびりしていたものであった。

国道側から御厩（おうまや）小路を望む

北方領土　明日の復帰へ今日の声

チュラビスタ

派遣青少年決まる
ホームステイで国際交流を

小田原海外市民交流会では、アメリカ合衆国チュラビスタ市への派遣青少年を募集してきましたが、選考の結果、次の三人の方が派遣されることになりました。

○岸　義貴さん（きし・よしたか）十八歳＝国府津在住
○高橋美菜さん（たかはし・みな）十八歳＝久野在住
○蓑宮あずささん（みのみやあずさ）二十歳＝荻窪在住

派遣期間は、七月二十五日から八月十一日までで、チュラビスタ市民の家庭にホームステイをします。この交流を通して相互理解と国際親善を図り、両市の友好も一層深まることでしょう。

なお、この三人は八月十一日にチュラビスタからの青少年と一緒に帰国します。チュラビスタの青少年は八月二十四日まで小田原に滞在する予定です。

岸　義貴さん

高橋美菜さん

蓑宮あずささん

チュラビスタ青少年

受入家庭など募集します

交流会では、チュラビスタからの青少年の受入れにあたり、観光案内やホームステイに協力していただける方を募集しています。ふだん着の国際交流に興味のある方は事務局（市役所文化室・☎㉝1703）までご連絡ください。

手作りの昼食会で

◆小田原点訳赤十字奉仕団＝津田サキ子・土屋公子　視覚障害者のために雑誌等を点訳。スポーツや手芸教室も開催。（中山君江・☎㉟1289）
◆手話サークル城の会＝相馬栄子（☎㊷3345）・斉藤
◆五樹会＝片桐卓哉　ほとんど男性メンバー。海岸清掃や身体障害者運動会を手伝う。（古川英信・☎㉓1755）
◆託児ボランティアグループはちの会＝香川瑛子（☎㊱3734）・柏木幸枝　教育委

今後は、行政とボランティアのみなさんとで役割分担をしながら、また、その間の地区社協とも協力をし、より地域に密着したまちづくりを進めていきたいと思います。

市長と話し合う
～小田原のこんなとこスキ・キライ～

小田原の魅力、自然、歴史・文化などについて、日ごろ身近で感じていることを市長に伝えてみませんか。

また、今の小田原にキライなところがあれば、若いセンスで素敵に変えるアイデアを、話し合いの中から一緒に考え出しましょう。

市長と話し合う会の参加者を次のとおり募集します。

◆日　時　八月二十三日(火)午前九時～午後三時三十分
◆会　場　市役所ほか
◆内　容　午前＝公共施設見学（辻村植物公園・尊徳記念館）　午後＝市長と話し合う会
◆対象・定員　市内在住の中学生　二十人（定員を超えた場合は抽選）
◆申込み　七月三十日(土)までに広報課（☎㉝1263）へ電話で申込みを。
※昼食は広報課で用意します。

親子で公共施設見学を
夏休み　ゴミの行方もわかるぞ

夏休みの一日、私たちの生活を支えている公共施設を見学する会を開きます。

家族で友だち同士で是非、ご参加ください。

◆日　時　八月十日（水）午前九時～午後四時
◆対象・定員　市内の小学生と保護者　四十人（四年生以上は保護者同伴でなくても参加できます。定員を超えた場合は抽選）
◆見学施設　辻村植物公園、青果市場、高田浄水場、尊徳記念館、環境事業センター、緑化センター
◆用意する物　弁当　水筒、室内履き
◆参加料　無料
◆申込み　七月二十五日までに広報課広聴係（☎㉝1263）へ電話で申込みを。

おしらせ・おしらせ・おしらせ・おし

古文書講座
受講生を募集

小田原市史編さん事業は、いよいよ来年3月『小田原市史』の初巻・近世史料編を刊行します。

これに向けて文化室では、古文書の収集、編集作業や、市民のみなさんから昔の小田原の話を聞いたりとさまざまな作業を進めています。この事業の一貫として、これまで集めた古文書を基に、みなさんに郷土の歴史に親しんでいただくための「古文書講座」を開講しています。

大変好評だった昨年度の近世入門編に続き、今年は近世文書の中級編として開講します。初めての方でも十分理解できる講座内容ですので、是非ご参加ください。

◆日　程　8月3日㈬　6日㈯　10日㈬　13日㈯　各日午後2時～4時
◆講　師　内田哲夫さん（県立高浜高校教諭・市史編さん専門委員）
◆定　員　40人（先着順）
◆会　場　中央公民館会議室
◆受講料　無料
◆申込み及び問い合わせ　7月20日までに文化室市史編さん係（〒250小田原市荻窪300　☎㉝1702）へ、電話またははがきでお申し込みください。

高波の時の救助は小田原救難所へ

種別		連絡先（電話番号）
警察署		110番
消防署		119番
小田原救難所		(22)4475及び(22)8021　夜間・休日｛小玉宅(23)0843　境　宅(22)9736
地元出動要請	前川	五ッ浦漁業㈱梅沢漁場 0463(71)1177　夜間・休日大曽根宅(43)1507
地元出動要請	①国府津 ②小八幡 ③酒匂	酒匂・国府津漁協(47)3251　夜間・休日｛①朝倉宅(47)3346　②椎野宅(47)2724　③須藤宅(48)0031
地元出動要請	本町	湯川宅 (22)7653
地元出動要請	早川	久保田宅（五郎丸）(23)2532
地元出動要請	江之浦	小崎宅（一吉丸）(29)0211　夜間休日 (29)0212

気を付けよう　海の事故

レジャーシーズンを迎え、海での事故が心配されます。ちょっとした油断が思わぬ事故につながります。

禁止事項や注意事項は必ず守り、気象状況・波浪状況や自分の体の調子にも十分注意してください。

もし、水難事故が発生した場合は、いち早く救助の連絡をとり、大事に至らないようにしましょう。

小田原地区の水難救助緊急連絡先は表のとおりです。

農地を造成する方は必ず申請を

市では、市街化調整区域内における農地の造成が適正に行われるよう、このたび「農地造成指導要綱」を制定しました。これは、農地造成により隣接あるいは近隣へ及ぼす被害等を防ぐことを目的としたものです。

現在、耕作している農地又

お互いに海のマナーを守って楽しい夏を過しましょう。
◎捕ってはいけないもの
イセエビ・クルマエビ・アワビ・サザエ・タコ・ナマコ等
◎禁止されている漁具・漁法
アクアラング・水中銃・水中眼鏡を使っての魚貝藻の採捕

とは禁止されています。

例えば、サザエ、アワビを捕ることや、水中銃を使うこ

中堀の復元工事が
今年度は往吉橋の橋台跡を

市では史跡小田原城跡の整備事業として中堀の復元工事を実施しています。
今年度は、中央連絡所の北台跡が見られたところです。
約三十メートルのところの復元工事を行います。
ここは昭和六十年に行われた発掘調査で、江戸時代に架けられていた「往吉橋」の橋台形に築き固められた石垣が姿を現しました。
この橋台跡は表面が六十センチ四方、奥行き約百二百二十センチの石を積み重ねて築かれています。
また、堀の中に発掘調査のために築かれた橋台形に築き固められた石垣が姿を現しました。
この橋台跡は表面が六十センチ四方、奥行き約百二百二十センチの石を積み重ねて築かれています。
また、堀の中に発掘調査のために築かれた橋台形に築き固められた石垣が姿を現しました。

往吉橋の橋台跡（北から）

復元工事は残っている遺構をできるだけ破壊しないように細心の注意を払って行います。
また、必要に応じて調査も行い、記録をとりながら進めていきます。実際の工事は次の順序で進められます。
可能な限り当時の姿に戻すことを目標に、積み石の一つ一つの底に転がしたものは元の位置を確認して積み直します。
また、角の石等で失われてしまったものについては、新たに石を加工して使います。
復元工事には普通の積み方と特別の技術が必要で、非常に手間がかかります。
工事中は仮かこう柵などをお掛けしますので、ご協力をお願いします。
◆問い合わせ　文化財保護課埋蔵文化財係　☎0１１８

ぼくの学校　わたしの学校

松林の中がマラソンのコースです

酒匂中学校
36

校舎の南には酒匂川の堤防の一つ、松林があり、数える程たくさんの松が木の生えています。
ここは昔は馬もの、今年の三月には役員の慰労の運動会がありました。
このような環境の中で、私たちは勉強や運動に打ち込んでいます。
また、こうした恵まれた環境の中で、九つの運動部と五つの文化部が活動しています。
開校年月日　昭和二一年五月五日
学級数・生徒数　二十一学級・総数六百七十九人
教職員数　三十七人
校舎の南には酒匂川の堤防の一つ、松林があり、数える程たくさんの松が木の生えています。
ここは昔は馬もの、今年の三月には役員の慰労の運動会がありました。
このような環境の中で、私たちは勉強や運動に打ち込んでいます。
また、こうした恵まれた環境の中で、九つの運動部と五つの文化部が活動しています。
開校年月日　昭和二一年五月五日
学級数・生徒数　二十一学級・総数六百七十九人
教職員数　三十七人

つの文化部が活動しています。
この部活動は、生徒全員参加の学校行事の一つとなっています。
また、生徒会活動も活発で、その内の一つに「生徒集会」があります。これは、部活動以外にも様々の学習の交流の場をつくろうということで、各学級の生徒が集まって交流を深めようというものです。
また、この集会は、月に一回、全校の生徒が集まって話し合いを行い、学校生活をよりよくしていこうというものです。
この集会は、毎月一日（二日目が休みの場合は二日）に行われ、九月には、全校生徒を先生方が二組に分けた「仲良し集会」を行います。
また、十月には、全校生徒を対象とした「合唱祭」を行います。
このように、生徒会活動は、学校生活の中心となっています。
そのほかに、私たちの校舎には、二月に一度、松林の中の学習林の整備作業があります。
この作業は、松林の中の下草を刈ったり、落ち葉をかきあつめたりするものです。
これらの作業をとおして、先生方や仲間との親しさ、一緒に働くことの楽しさ、また、自然を守ることの大切さなどを学んでいます。
このように、学校生活の中には、様々な行事があります。
その内の一つに、生徒会活動があります。これは、部活動以外にも様々の学習の交流の場をつくろうということで、各学級の生徒が集まって交流を深めようというものです。
また、この集会は、月に一回、全校の生徒が集まって話し合いを行い、学校生活をよりよくしていこうというものです。
この集会は、毎月一日（二日目が休みの場合は二日）に行われ、九月には、全校生徒を先生方が二組に分けた「仲良し集会」を行います。
また、十月には、全校生徒を対象とした「合唱祭」を行います。
このように、生徒会活動は、学校生活の中心となっています。
そのほかに、私たちの校舎には、二月に一度、松林の中の学習林の整備作業があります。
この作業は、松林の中の下草を刈ったり、落ち葉をかきあつめたりするものです。
これらの作業をとおして、先生方や仲間との親しさ、一緒に働くことの楽しさ、また、自然を守ることの大切さなどを学んでいます。
これらのものです。（生徒会）

おしらせ・おしらせ・おしらせ

市民会館が休館します

市民会館は、7月26日から8月31日（水）まで、大ホール8月5日から8月31日（水）までです。
なお、事務室は事務のため食堂棟側の展示室に移転しますが、平常どおり受付等の事務をとります。
◆問い合わせ　市民会館☎0１４６

公道にたった樹ははせんぞを

お花の会行なうなどは、道路や歩道のために無いかぎったり、はみ出したりしていませんか。
これは、人が歩くのに邪魔になったり、自動車の通行の妨げになったりしてしまいます。また、交通事故などの要因にもなりかねません。
枝切りせん定をして、道路も道路敷き見通しの良い快適な公道となるように協力をお願いします。
◆問い合わせ　土木管理課☎0１１１

水道の修理は修理センターへ

家庭の水道の蛇口が故障したり、水道管が破裂したときには、管工事協同組合の水道修理センター（修理も依頼してくれます）へ。
公営業者でも行なっています。詳細については、県企業庁水道局（吉倉第一）☎0４６３（９３）２１１１へ問い合わせください。

伝言板

郵トピア事業で料理教室を

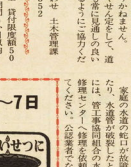
郵トピア事業の一環として今年度２回目のクッキング教室「夏バテ防止のスタミナ料理」を開催します。
◆日時　７月29日（金）午前10時～午後２時30分
◆会場　時計回遊館専門学校
◆講師　時計回遊館専門学校調理師
◆定員　50人（先着順）
◆申込先・問い合わせ先　氏名、年齢、電話番号を記入して〒250-0045　小田原郵便局☎0４６５（２２）６００２

富士山の写真展を開催

市教育委員会の後援する写真展「富士山とわたし」が開催されます。
主催者お出掛けください。
◆日時　8月5日（金）～8月10日（水）
◆会場　志澤小路
◆問い合わせ　岡田☎０２４３８

水の週間　8月1日～7日

8月1日は「水の日」です。
水は限りある資源です。
これを機会に、今一度水を見直し、豊かな暮らしに役立てるように心掛けましょう。



小田原市水道局

市民会館の利用について

ねば抽選となります。特に希望のある場合は、公営業者に直接申し込んでください。
公道内の遊具修理は市が修理しますので、漏水箇所を発見けください。なお、宅地内は有料です。
蛇口・ッキンの取り替えは「自分でもできます。水道材料店でパッキンを買って、メーター器内の止水栓を止めてから修理してください。
◆問い合わせ　水道修理センター☎0３２７０（夜間☎0３６６７）工務課☎0３６６７（夜間☎0２５４）なお、緊急時には県営水道ですので、詳細については、県企業庁水道局（吉倉第一）☎0４６３（９３）２１１１へ問い合わせください。